

教育課程研究指定校事業実施計画書（令和2年度）
 ー 研究課題 1 中学校 ー

都道府県・指定都市番号	34	都道府県・指定都市名	広島県・尾道市
-------------	----	------------	---------

公立・私立・国立（○で囲む）

1 研究指定校の概要

ふりがな 学校名	おのみちしりつ たかにしちゅうがっこう 尾道市立 高西中学校				ふりがな 校長氏名	はまもと 濱本 かよみ
所在地	〒729-0141 尾道市高須町3467番地1 電話 0848-46-0205 FAX0848-46-6131 E-mail:takanishi-j@onomichi.ed.jp					
(R2.4.1 見込)	1年	2年	3年	計	(R2.4.1 見込。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む)	
学級数	4	4	4	12	教員数 25名	
生徒数	140	148	122	410	[調査研究にかかわる教科等の教員数] 25名	
特記事項						

2 研究主題等

教科等名	特別活動	教科課題番号等	1
学校における研究 主題	生徒の自治的風土の醸成による学校力の向上 ～生徒の主体的参画による魅力ある地域づくりを通して～		

3 令和元年度の成果と課題

<p>成果</p> <p>○学校行事に企画段階から生徒が参加し、教師の指導観が変わることで生徒の主体性を生かして実施することができた。保護者アンケートの「生徒の自主性が生かせる体育大会になっていましたか」の項目の肯定的評価が87%、「生徒の自主性が生かせる文化祭になっていましたか」の肯定的評価が90%を超えた。</p> <p>○行事ごとにいろいろな生徒がリーダーとして活躍できる場、生徒集会などにおいて意見を発表する場を意図的に設けることができた。</p> <p>○話合いの技法を生かすことによって、授業改善が進み、生徒の主体性を生かした授業作りが進んだ。</p> <p>○地域貢献活動を生徒自らが企画、立案、連携を行うことで、学校と保護者・地域とのつながりを一層強めることができた。</p> <p>課題</p> <p>●育成すべき資質・能力を明確にして、その育成に向けた具体的な取組が計画的にできなかった。</p> <p>●学校行事である一定の成果は得られたものの、行事の取組の自由度を高めることで生徒の意欲を喚起したが、中学生の発達段階に応じた課題を設定した中で、生徒の主体性を高めることができなかった。</p> <p>●学級活動を計画的・意図的に仕組むことができなかった。</p> <p>●特別活動を基盤に、学力の向上にどのように取り組むか、カリキュラムマネジメントの視点で見直しを行うことができなかった。</p> <p>●考えるプロセスの充実を図り、他の教科等との往還の関係を整理していくことができなかった。</p>

4 令和2年度の研究計画

(1) 本年度の研究の重点等

<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を基盤とした特別活動の研究推進 <p>学級集団作りを重点的に取り組み、高め合い、認め合う集団作りを行う。そのことを通して、子どもが作り上げる学級集団を築くことで自治的風土の醸成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動と他教科・領域のカリキュラム・マネジメント <p>特別活動を基盤とした話し合い活動を他教科・領域でも取り組む。特別活動で話し合ったことをもとに、総合的な学習の時間の探究的な学習へとつなげる。</p>
--

(2) 研究準備 (記入する内容がある場合のみ)

実施期間	取組の計画	期待される効果
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 ・研究推進部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の取組の目的と見通しの共有
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 ・研究推進部会 ・広島県教育センター指導主事より指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画等の見直しと助言

(3) 研究計画

実施時期	研究内容, 研究方法, 成果の公開等	期待される成果等
1学期 4月始め 4月始め 4月始め 4月始め 毎月実施 5/15・6/26 毎月実施 授業後作成 不定期 不定期 1学期末	<ul style="list-style-type: none"> ・新体制での研究体制構築 ・昨年度の取組の成果と課題の周知,研究の見通し・年間指導計画の提案 ・研究の重点取組等の周知 ・生徒アンケートの見直しと作成 ・生徒アンケート実施 (学校再開後,毎月月末に実施) ・授業研究会・杉田先生による研修 ・学級会の実施 ※1学期は特に,学級集団作りを重点をおく (学級集団→学年集団へ) ・話し合いの成果を掲示で可視化 ・校内授業研究 ・研究部会の実施 ・ホームページ等による発信 ・校内研修 ・保護者アンケート,地域アンケートの実施 ・指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織体制の確立 ・教職員の共通理解→組織として取組 ・育成すべき資質・能力の明確化 ・取組の具体化 ・実態把握と分析・改善 ・実態把握と分析・改善 ・集団作りについての研修 ・授業改善 ・集団作り ・集団作り ・授業改善 ・取組の進捗と分析・改善 ・1学期の取組についての評価・改善と2学期に向けて ・実態把握
2学期 9月始め 毎月実施 毎月実施 9月末 10/16 10月末 10月末 不定期 11/24 12月 不定期 不定期 2学期末	<ul style="list-style-type: none"> ・全校学活 ・生徒アンケート実施 ・学級会の実施 (総合的な学習とつなぐ) ・地域貢献活動に向けた計画立案,運営に向けた話し合い ・授業研究会・杉田先生による研修 ・文化祭の企画,運営に向けた話し合い ・地域貢献活動 ・指導案検討 ・公開研究会・杉田先生講演会 ・生徒会選挙,引き継ぎ ・研究部会の実施 ・ホームページ等による発信 ・保護者アンケート,地域アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と教員の共通確認 ・実態把握と分析・改善 ・集団作り→自治的風土の醸成 ・地域参画の向上 ・授業改善 ・学習成果の発信 ・地域参画の向上 ・授業改善 ・取組の発信 ・ ・取組の進捗と分析・改善 ・実態把握と分析・改善

2学期末	・校内研修	・研究のまとめ ・2学期の取組についての評価・改善と3学期に向けて
3学期 1月始め 毎月実施 毎月実施 不定期 不定期 3学期末 3学期末	・全校学活 ・生徒アンケート実施 ・学級会の実施 ・研究部会の実施 ・ホームページ等による発信 ・保護者アンケート,地域アンケートの実施 ・校内研修	・生徒と教員の共通確認 ・実態把握と分析・改善 ・集団作り→自治的風土の醸成 ・研究のまとめ ・次年度に向けて計画 ・取組の発信 ・取組の進捗と分析・改善 ・実態把握と分析・改善 ・3学期の取組についての分析・改善と次年度に向けて ・資質・能力についての見直し

5 研究のまとめの見通し

<p>・話し合い活動を基盤とした特別活動の研究推進</p> <p>学級集団作りを通して、高め合い、認め合う集団作り→子どもが作り上げる学級集団を築くことで自治的風土の醸成</p> <p>検証方法</p> <p>①生徒アンケートー70%（1学期段階） 「話し合いの際、思考ツールを使うことで話し合いを深めることができた」 「学級の話合い活動では、お互いの違いを認め合い、ゆずり合うことができている」 「学級での話し合い活動を通して、学級集団の高まりを実感することができている」</p> <p>②教員アンケートー70%（1学期段階） 「学級集団の高まりを実感できた」 「話し合い活動を活発にするために、思考ツールを活用することができた」</p> <p>③暴力行為・いじめの発件数 前年度比半減</p> <p>・特別活動と他教科・領域のカリキュラム・マネジメント</p> <p>特別活動を基盤とした話し合い活動を他教科・領域でも取り組む。特別活動で話し合ったことをもとに、総合的な学習の時間の探究的な学習へとつなげる。</p> <p>検証方法 成果物</p>
--

6 研究実績

特になし
